

# 農業の6次産業化をめざして…

## 三郷町農業委員会

### 1. 三郷町の農業の概要

三郷町は、奈良県西北部、大阪府との境界部に位置し、奈良市へ25km、大阪市へ34km、JR関西本線を利用していずれの都心へも約20分で到着できる交通至便の位置にあります。古くはイチゴ及び近郊野菜の栽培や中山間地域における花卉・花木の栽培が盛んでしたが、宅地化が進展するにつれて、専業農家が減少しています。近年は、都市近郊という立地条件を生かした施設園芸や観光農業に積極的に取り組んでいます。

### 2. 農業委員会の取り組み



#### ①具体的な取り組み内容

三郷町農業委員会では、遊休農地の発生防止と解消を目的に、当委員会が選定した推奨作物（蒟蒻芋・黒大豆）をモデル展示圃である遊休農地約24aに作付けし、看板を設置するなどして啓発活動を行っています。

遊休農地の草刈

また、農業委員会が行う遊休農地を活用した町の特産品開発の取り組みがきっかけとなり、町内農業生産法人が行う蒟蒻芋の栽培から商品開発・加工・販売の事業計画が6次産業化の認定を受けることとなりました。





蒟蒻芋の定植風景

黒大豆については、地産地消を目指し、枝豆用として栽培し、収穫したものを町主催の文化祭で販売したところ、全て完売し、大変好評でした。

## ②取り組みにあたっての課題

三郷町は市街化区域内農地が多く、山間部においては鳥獣被害により遊休農地が増加していく中、農業者の高齢化も深刻な問題となっています。このような中、現在取り組みを行っている特産品開発事業を地域の農業者へどう広げていくか、また町の特産品としてどのようにブランド化していくのかが大きな課題となっています。



蒟蒻芋の栽培風景



黒大豆の栽培風景

## ③今後の取り組み

蒟蒻芋と黒大豆の生産量を増やし、町の特産品として確立するため、農業生産法人、新規就農者への生産拡大の呼びかけや、新たな集落営農組合の設立推進などの取り組みを積極的に進めていこうと考えています。